

令和元年第3回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

令和元年9月4日（水）10：30～

保土ヶ谷区役所2階 202会議室

次 第

開 会

議題1 平成30年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について

議題2 令和元年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について

2-1 令和元年度災害対策推進事業の取組状況について

2-2 防災・地域福祉保健アンケートの結果報告（速報）について

2-3 ほ도가や元気づくり事業について

2-4 横浜国立大学留学生の地域交流推進事業について

2-5 星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業について

閉 会

平成30年度保土ヶ谷区

個性ある区づくり推進費等

執行実績

令和元年9月4日

保土ヶ谷区

《目次》

1	平成30年度個性ある区づくり推進費執行総括表	2
2	平成30年度個性ある区づくり推進費執行内訳	2
	(1) 施策分野別自主企画事業費執行実績	2
	(2) 事業別自主企画事業費執行実績	3
	(3) 一般管理費執行実績	16
《参考1》	区局連携促進事業執行実績	17
《参考2》	元気な地域づくり推進事業執行実績	18

1 平成30年度個性ある区づくり推進費執行総括表

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	差引の主な理由
自主企画事業費 (43事業)	105,318,000	102,459,395	2,858,605	○「保土ヶ谷ガイドマップ作成事業」における、在庫の活用による執行見送りに伴う減(1,722,000) ○「ほ도가やhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～」における、実績による通信運搬費の減等(853,924)
一般管理費	552,591,000	555,022,701	△ 2,431,701	○区庁舎等管理費における、猛暑対応等による光熱水費の増等(△4,001,558)
合計	657,909,000	657,482,096	426,904	

2 平成30年度個性ある区づくり推進費執行内訳

(1) 施策分野別自主企画事業費執行実績

(単位：円)

施策分野	予算額	決算額	差引	主な事業・主な取組
1 暮らしの安全・安心の確保	24,222,000	22,880,882	1,341,118	【災害対策推進事業】 (3ページ) ○減災運動推進大会等の開催による、地域における自助・共助の推進 【生活保護受給者に対する家計相談支援事業】 (4ページ) ○専門の家計相談支援員による相談・支援(46件)
2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	23,390,000	21,385,824	2,004,176	【がやっこキッズ学び育み事業】 (6ページ) ○放課後キッズクラブの特別プログラムとして、学習アドバイザー等による児童への学習支援の実施(6校) 【ほ도가や元気づくり事業】 (7ページ) ○「働き・子育て世代」(30～50代)を中心とした区民に対し、健康に関する情報提供や体験型講座の開催
3 つながり・支えあいの推進	18,556,000	17,707,521	848,479	【保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業】 (10ページ) ○各地区の取組支援や、ほとなまちづくりフォーラムにおける取組の情報共有等による、第3期保土ヶ谷区地域福祉保健計画の推進 【地域見守り推進事業】 (11ページ) ○民生委員・児童委員協力員の配置(7地区11名) ○あんしん訪問員による、ひとり暮らし高齢者等の見守り
4 魅力あるまちづくり	22,004,000	20,212,101	1,791,899	【歴史浪漫ほ도가や事業】 (11ページ) ○案内サイン等の維持管理 ○まちの魅力発信拠点の整備・運営 【花薫るきれいな街ほ도가や事業】 (13ページ) ○「ほ도가や花フェスタ2018」の開催 ○ヨコハマ3R夢の普及啓発
<信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～>	17,146,000	20,273,067	△ 3,127,067	【「利用しやすい区役所」推進事業】 (14ページ) ○税務課レイアウト変更
合計	105,318,000	102,459,395	2,858,605	

(2) 事業別自主企画事業費執行実績

1 暮らしの安全・安心の確保

皆様が安全に安心して暮らせるよう、道路や公園等を維持管理するとともに、交通安全対策、防犯、食の安全、生活環境改善に向けた支援や温暖化対策などに取り組みました。また、災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進しました。

【予算額 24,222,000 円】

【決算額 22,880,882 円】

1 エコ活動推進事業【(予) 1,030,000 (決) 723,576】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年度までに16%、2050年度までに80%削減(2005年度比)」の目標を達成するため、「ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワーク」をはじめ、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行いました。

- (1) 「ほ도가や花フェスタ2018」への出展(電気自動車チョイモビヨコハマの展示、環境に関するクイズの実施、家庭でできるエコな取組を紹介したパンフレットの配布等)(5月)
- (2) 太陽電池を使った工作講座(8月)
- (3) 横浜市風力発電所(ハマウィング)及びリサイクルポート山ノ内の見学会(10月)
- (4) ほ도가や地球温暖化対策推進ネットワークメンバーへの情報提供(5回/年)

2 消費生活対策事業【(予) 101,000 (決) 97,656】

地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、悪質商法対策、食の安全・安心等の消費生活向上と普及啓発を図りました。(通年)

- (1) 消費生活教室：平成31年1月24日(木) 場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室
テーマ「トラブルを回避するための終活を考える～元気なうちに始める、暮らしの総点検～」 参加者81名

3 災害対策推進事業(20万区民の自助・共助による減災運動)

【(予) 12,228,000 (決) 11,989,691】

安全・安心に暮らすことができる区づくりのため、危機管理・地域防災力の向上を図りました。

- (1) 保土ヶ谷区感震ブレイカー等設置推進事業(6月～)(設置件数：29団体941個)
- (2) 重点月間を定めた広報啓発キャンペーン(6月、9月)
 - ・保土ヶ谷駅、天王町駅にて風水害をテーマとした啓発活動、区内公共施設にてパネル展示等(6月)
 - ・区内コミュニティハウスにて地震をテーマとしたパネル展示等(9月)
- (3) 減災運動推進大会(2月)(来場者：約300人)
 - ・災害時のペット対策をテーマとした講演会、地域の方による事例発表
- (4) 保土ヶ谷区防災講習会講師派遣事業(通年)(参加者：17団体519人)
- (5) 地域防災拠点支援事業(通年)
 - ・地域防災拠点管理運営委員を対象としたHUG研修会(7月)(参加者：18人)
 - ・東日本大震災の際に避難所本部の運営者だった方を講師とした地域防災拠点運営委員向け研修会(9月)(参加者：64人)

4 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業【(予) 5,493,000 (決) 4,909,228】

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進しました。(通年)

- (1) 防犯物品の配布 (12月)
- (2) 街頭防犯キャンペーンの実施 (12月)
- (3) 防犯川柳コンクールの実施 (12月)
- (4) こども110番あんしんの家登録受付 (通年)

5 交通安全対策事業【(予) 3,033,000 (決) 2,830,618】

駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発を行いました。また、交通安全運動や交通安全教室を実施して交通事故の防止を推進しました。(通年)

6 暮らしの衛生サポート事業【(予) 1,170,000 (決) 1,170,000】

食の安全や動物の適正飼育など、生活衛生に関する正しい知識の普及に努め、区民の安全で快適な生活を応援しました。

- (1) 地域行事における食中毒予防リーフレットの作成 (3,000部)・配布 (11月～)
- (2) 地域のボランティア活動で食品提供する方を対象とした手洗い講習会の実施 (21回 475人) (5～12月)
- (3) 地域防災拠点における「健康・衛生管理掲示物」の周知・掲示物を使用した訓練の実施 (27拠点中 17拠点) (6～3月)
- (4) 災害時ペット対策をテーマとした講演会の開催 (1回 300人) (2月)
- (5) 災害時ペット対策グッズ (飼い主啓発用) の作成 (2,500部)・配布 (2月～)

7 生活保護受給者に対する家計相談支援事業【(予) 1,167,000 (決) 1,160,113】

生活保護受給者を対象として家計相談支援事業を実施し、扶助費を保護世帯が適切に管理できるよう支援することにより、保護世帯の社会的自立を目指し、また、保護脱却世帯が再び保護世帯に戻らないようにすることを目指しました。(通年)

2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり

子どもから高齢者まで、住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、子育てしやすい環境づくりや地域の皆様の交流・活動の場づくり、健康増進、介護予防、障害のある方への支援などに切れ目のなく取り組みました。

【予算額 23,390,000円】

【決算額 21,385,824円】

8 スポーツの街ほどがや推進事業【(予) 4,268,000 (決) 4,234,241】

地域におけるスポーツの普及・振興、青少年の健全育成、参加者の健康増進、並びに地域住民の相互交流を促進するために、スポーツイベントを区民主導で実施しました。(通年)

(1) スポーツ推進委員主催の大会

ア 少年少女球技大会 (参加人数 316 人)

平成 30 年 7 月 21 日 (土) ~22 (日)

スポーツを通じた身体の健全な発育・発達を促進するとともに、友情や連帯感、協調性などを学ぶことで、社会性や責任感を身に付けることを目的に開催。

イ 第 22 回保土ヶ谷区グラウンドゴルフ大会 (参加人数 224 人)

平成 30 年 11 月 18 日 (日)

健康保持や増進、世代や障害をこえた参加者相互の交流を深めることを目的に開催。

ウ 第 27 回かるがもファミリーマラソン大会 (参加人数 1,314 人)

平成 31 年 2 月 17 日 (日)

健康保持や増進、参加者相互の交流を深めることを目的に開催。

(2) 区体育協会事業

ア 協会事務局に係る人件費を補助し、12 競技団体の自主運営体制を強化。

イ 野球、テニス等のスポーツ大会 (区民大会) を年間 46 回開催。

(3) プロスポーツ応援事業

区民の連帯感や郷土愛を育み、地域の活性化を促進することを目的に、区のプロスポーツチームである横浜 FC を応援。

9 みんなで育む がやっこ事業【(予) 1,023,000 (決) 884,354】

地域の資産である横浜国立大学と連携し、保土ヶ谷区の地域特性を活かしながら、元気な保土ヶ谷の子どもたち (がやっこ) の健全育成を図りました。(通年)

(1) がやっこ先生 (通年) (参加学生数 : 18 人)

横浜国立大学の教員志望の学生を区内市立小中学校へ派遣し、保土ヶ谷区内の小中学校における授業のアシスタントを実施。

(2) がやっこ探検隊 (全 7 回 / 6 月から 2 月) (【各回】 参加小学生 : 80 人、学生 : 46 人)

横浜国立大学の学生の企画により、子どもたちが日ごろ経験できないような体験学習 (宿泊体験含む) を実施し、地域と友人への愛情や生きる力を育成。

(3) がやっこ科学教室 (全 8 回 / 8 月) (参加者数 : 計 138 人 / 全 8 回)

横浜国立大学の教員・学生と協働して、自然科学の不思議さや面白さを伝え、子供達の好奇心と探求心を育成。

10 青少年健全育成事業【(予) 4,379,000 (決) 4,513,946】

青少年の健全育成を行うため、区または地域において青少年を対象とした事業を実施しました。また、青少年の健全育成活動を推進する人材の育成及び研修事業を実施しました。(通年)

(1) 青少年指導員事業

- ・手作り紙ヒコーキ大会 (7月、参加者 204人)
- ・ほどがやバンドバトル (11月、参加バンド 13バンド)
- ・新春かるた大会 (1月、参加者 113人)

(2) 子ども会育成者研修事業

保土ヶ谷区子ども会育成連絡協議会へ補助金の交付 (5月)

11 がやっこキッズ学び育み事業【(予) 1,448,000 (決) 1,236,661】

貧困等により学校以外での学習機会に恵まれない子どもを支援するため、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行いました。

- (1) 29年度からの継続4校(新井小、上菅田小、星川小、富士見台小)で事業実施(4月～)
- (2) 30年度新規2校(帷子小、坂本小)で事業開始(7月～)

12 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【(予) 4,935,000 (決) 4,081,076】

地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施しました。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきました。

- (1) 保育園による妊娠期の支援(通年)
- (2) 地域赤ちゃん教室の開催(14会場：154回)
- (3) 1歳以上の幼児を対象とした外遊び支援事業(6エリア：11回※うち、3回雨天中止)
- (4) 乳幼児健診来庁者への支援(72回)
- (5) 公私保育園合同育児講座「ほがらか広場」の開催(5月から11月まで年7回)
- (6) 子育てお役立ち情報の充実(随時)
- (7) 子育て支援マップの作成、配布(6,000部、251か所)
- (8) 子育てシンポジウムの開催(8月25日)
- (9) ほどがや こどもニコニコフェスタの開催(12月2日)
- (10) 保育園応援隊(通年)
- (11) 地域子育て支援連絡会(7月、2月)、地域ケアプラザエリア別会議(通年)

13 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【(予) 2,342,000 (決) 2,261,316】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めました。また、孤立しやすい若年やひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげました。

- (1) 児童虐待防止啓発事業 (10月 ほどがや区民まつり、11月 児童虐待防止推進月間での啓発)
- (2) 女性の離婚等のための相談事業 (ライフサポートカウンセリング) (通年)
- (3) 要保護児童対策地域協議会保土ヶ谷区実務者会議 (5月)、地域ケアプラザエリア別会議 (7か所)
- (4) 若年母の会 (若ママの会) (月2回)

14 保土ヶ谷 8020 歯っぴい事業【(予) 980,000 (決) 954,364】

口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防と20～30歳代の保護者の歯周病予防を重点に、「8020運動は若いうちから」を意識し実技指導等を取り入れた啓発を行いました。(通年)

15 《新規》ほどがや元気づくり事業【(予) 2,068,000 (決) 2,014,523】

「働き・子育て世代」(30～50代)を中心とした生活習慣病リスクが高まる世代に対し、様々な機会を捉えて、健康に関心を持てるよう情報提供を行いました。また、生活習慣を振り返り、健康維持に向けた行動に結びつけるため、体験型の健康講座を開催し、参加者の体の機能チェックや食生活チェックを行いました。

- (1) 区内イベント等での啓発活動の実施
ほどがや花フェスタ (5月)、親子健康まつり (6月)、区民まつり (10月)、横浜国大文化祭 (5月、11月) 等における周知、PR
- (2) 体験型の健康講座の開催
中学校PTAの会合の場で、体組成計による健康チェック、バランスの良い食事の実演 (7月)
区内企業の朝礼・研修の機会に、タバコの体への害をクイズ形式で学ぶ健康講座や、腰痛予防体操をきっかけとした運動に関する健康づくりをPR (下半期)

16 輝けシニア！2025事業【(予) 1,158,000 (決) 661,132】

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めました。

- (1) きらり☆シニア塾の認定・継続支援（介護予防、健康づくり活動の啓発など）（通年）
 - ・きらり☆シニア塾認定団体数（30年度）：14団体（累計：90団体）
- (2) 啓発媒体の活用等による「わがまち保土ケ谷体操」を通じた介護予防・健康増進の普及啓発（通年）
- (3) 高齢者が、地域の中で孤立せず、生きがいに満ちた人生を送るために、仲間づくりと生きがいを促進する事業を老人クラブと共催開催
 - ・ことぶき大学講座（7月6日：約350人参加）、高齢者作品展（11月1日～5日：104点出品、入賞作品の区民ギャラリー展示11月7日～16日 約600人来場）、囲碁・将棋大会（1月16日：囲碁33人 将棋26人参加）
- (4) 認知症の理解、対応等の普及啓発及び人材育成（専門職の講師による助言等）（通年）
 - ・認知症サポーター養成数（30年度）：1,957人（累計：20,288人） ※（累計）市内3位
 - ・認知症キャラバン・メイト養成数（30年度）：23人（累計：266人） ※（累計）市内4位
- (5) 地域ケア会議スキルアップを目的とした研修等の開催

17 学齢障害児フレンドサポート事業【(予) 789,000 (決) 544,211】

障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援しました。

- (1) 平日放課後及び休日 ダンスワーク（原則毎月2回）、音楽レクレーション（原則毎月1回）
- (2) 長期休暇期間 ボランティアを募集し、イベントや外出レクレーションを実施

3 つながり・支えあいの推進

自治会町内会をはじめ福祉・まちづくりなど幅広い分野の関係団体等と連携し、地域活動の支援や活動の担い手同士の連携を促進しました。

【予算額 18,556,000円】

【決算額 17,707,521円】

18 広聴の区民協働・相談事業【(予) 1,056,000 (決) 1,033,585】

「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を協働で行ったほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行しました。また、区民の多様な相談事項に応じて、法律相談等の機会を提供しました。

- (1) 「地域のつどい」への参加（6会場/6月）、「区民のつどい」への参加（12月）
- (2) 分科会の活動（通年）
- (3) ニュース「やまびこ」の発行（1期2年間に3回発行）
- (4) 法律相談等の実施（通年）

19 ほどがや区民まつり【(予) 4,500,000 (決) 4,781,178】

区民や区内各種団体の交流促進及び地域コミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催しました。

- ・開催日 :平成30年10月20日(土)
- ・開催場所:県立保土ヶ谷公園
- ・区民バザール:119団体163区画

20 自治会町内会育成事業【(予) 2,871,000 (決) 3,393,581】

地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支え、市政・区政推進の基盤となることを目的としました。(通年)

21 ほどがや☆元気村【(予) 640,000 (決) 597,308】

団塊の世代や次代を担う若い世代が地域の新たな担い手として元気に活躍していただくきっかけとして、保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用し、児童・生徒をはじめ多くの区民と交流の場(元気村)をつくりました。

【スケジュール】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 4月 開村式(牛乳パックで稲の種植え) | 5月 田おこし |
| 6月 代かき、田植え | 7月 ジャガイモ収穫、草取り |
| 8月 かかし作り | 9月以降 大根の種まき、稲刈、収穫祭など |
| 3月 10周年記念誌発行 | |

【参加者】

実行委員会のボランティア(約30人)、児童・生徒(約50人)及び同伴の保護者(約20人)

【参加小学校】

新井小学校、今井小学校、上菅田小学校、坂本小学校、帷子小学校、星川小学校、境木小学校、上星川小学校、川島小学校、初音が丘小学校、桜台小学校、常盤台小学校、峯小学校、瀬戸ヶ谷小学校、富士見台小学校、捜真小学校、藤塚小学校、保土ヶ谷小学校

22 おやじの会活動支援事業【(予) 99,000 (決) 7,500】

区内幼稚園、小学校、中学校に組織されているおやじの会に、団体同士の情報共有の促進、地域活動への誘導などの施策を通して、次世代の地域活動の担い手としての発掘・育成を図りました。

- (1) おやじの会のPR(区民まつりへの出展)(10月)
- (2) 保土ヶ谷おやじの会の集い開催(2月)

23 市民活動支援事業【(予) 3,313,000 (決) 3,384,703】

市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働の支援への意識を持って、地域に密着したきめ細やかな支援を行いました。(通年)

- (1) ほどがや生涯学習フォーラム(まなぶん祭り11月、2日間、延べ来場者約1,000人)

24 はぐくみプロジェクト【(予) 1,960,000 (決) 1,185,869】

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、区民利用施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施しました。(通年)

- (1) はぐくみ塾(5月～6月、6回、募集30人、応募27人)
- (2) 区民企画型講座の実施(10月～2月、5講座、延べ運営委員20人、延べ参加者233人)
- (3) 舞台音響照明ボランティア入門講座(8月～9月、5回、募集12人、応募18人)
- (4) 区内施設間連携促進事業 地域デザインセミナー(7月～12月、5回、延べ参加者107人)
- (5) はぐくみCafé(3月、参加者42人)

25 学校・家庭・地域連携事業【(予) 720,000 (決) 720,000】

学校・家庭・地域が連携し地域の特性を活かしながら自主的に実施している「学校・家庭・地域連携事業実行委員会(中学校区ごとに設置。8委員会)」への支援を通じて、非行防止や青少年の健全育成を推進しました。(通年)

26 障害者地域支えあい連携推進事業【(予) 817,000 (決) 648,914】

障害者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、保土ヶ谷区地域自立支援協議会を中心に地域活動ホーム、福祉事業所、地域ケアプラザ等関係機関相互の連携強化を図るほか、人材育成、地域への普及啓発活動を行いました。

- (1) 自立支援協議会の開催(全体会:1回、専門部会:95回)(通年)
- (2) 人材育成等に関する研修の開催(7月、2月)
- (3) 福祉事務所の自主製品販売促進を行うことにより、障害者の社会参加を促進しました。
 - ・区役所での販売:夏季及び年末年始を除き、原則として開庁日の毎日
 - ・区民まつり等イベント開催時
 - ・イオン天王町店:原則として毎月第4水曜日

27 保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業【(予) 1,303,000 (決) 760,160】

ほとなまちづくり推進会議等を通じて、27年度に策定した第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり(地域福祉保健計画)を推進しました。また、区役所・区社協・地域ケアプラザによる地区支援チームが地域の主体的な取組を支援しました。

- (1) 活動事例集の作成・配布(11月～)
- (2) ほとなまちづくり推進会議の開催(6・2月)
- (3) 地区別計画推進を支援(通年)
- (4) リーダー会議(4月・9月・2月)
- (5) 地区支援チーム研修(9月～10月)

28 地域見守り推進事業【(予) 1,277,000 (決) 1,194,723】

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（民生委員・児童委員及び地域のボランティア）が区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守りました。

また、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行いました。

- (1) 各地区推進委員会へあんしん訪問事業補助金を交付（7月）
- (2) 民生委員・児童委員協力員の委嘱開始（7月、以降毎月1日付で委嘱）
- (3) あんしん訪問事業全体研修会の開催（10月）
- (4) あんしん訪問事業地区推進委員会区連絡会の開催（3月）

4 魅力あるまちづくり

自然や歴史など古くから継承されてきた特色ある地域資源を生かした取組や、交通ネットワークの向上等、未来を見据えたまちづくりを推進し、区の魅力を高め、地域への愛着をはぐくみました。

【予算額 22,004,000 円】

【決算額 20,212,101 円】

29 広報推進事業【(予) 7,060,000 (決) 6,973,186】

多様な手段・手法による広報を推進し、より多くの区民に区事業等を周知し区取組への理解を深めました。

- (1) 広報よこはま ほどがや区版の編集・発行（通年）
- (2) ホームページの公開・更新（通年）
- (3) メールマガジンの発行（毎月25日）
- (4) インスタグラムの配信（週3日程度）
- (5) その他各メディアを活用した広報及び情報提供等（通年）

30 歴史浪漫ほどがや事業【(予) 2,035,000 (決) 1,788,392】

旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を活かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めました。

- (1) 旧東海道PR(区民まつり出店(10月)、スタンプラリー(10月)、ウォーキングイベント(2月))
- (2) 歩きやすい街道づくり(案内サイン等の維持管理)(通年)

31 都市計画マスタープラン・地域別構想の改定業務

【(予) 1,000,000 (決) 763,320】

都市マスタープラン保土ヶ谷区地域別構想の改定を行いました。

- (1) 市民からの意見聴取（7月）
- (2) 地域別構想の改定（3月）

32 保土ヶ谷商工業支援事業【(予) 708,000 (決) 321,156】

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供し、活性化に取り組む商店街を支援しました。また、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行いました。(通年)

33 ほどがや朝市事業【(予) 320,000 (決) 334,900】

農家、区民、区役所が協力し、保土ヶ谷区民が「農」を身近に感じられる取組を通して、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めました。

- (1) 朝市の開催 (毎月)
- (2) 地産地消のPR (花フェスタへの出展 5月、区民まつりへの出展 10月)

34 国際文化理解事業【(予) 1,100,000 (決) 1,844,416】

国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、多文化共生の実現を目指しました。(通年)

- (1) ほどがや花フェスタ 2018 へのブルガリア民俗音楽グループ出演 (5/19・星川中央公園)
- (2) ブルガリアブース出展 (10/20・ほどがや区民まつり、5/19・ほどがや花フェスタ)
- (3) アバガル・カルテット来日記念講座実施 (11/15・岩間市民プラザ)
- (4) 第31回保土ヶ谷区民芸能祭へのブルガリア民俗音楽グループ出演 (12/16・保土ヶ谷公会堂)
- (5) 区内小学校(初音が丘、仏向、瀬戸ヶ谷、常盤台)におけるブルガリア理解特別授業実施 (1・2月)、各小学校ダマスクローズ植樹
- (6) ブルガリア料理教室(全4回、各地区センター)、ブルガリア刺繍体験教室(8/31、保土ヶ谷公会堂)実施
- (7) バラ看板設置(2基、星川中央公園)

35 花薫るきれいな街ほ도가や事業【(予) 5,012,000 (決) 5,258,990】

保土ヶ谷区では、地域・学校・事業者の方々とともに「ほ도가や花憲章」を平成10年に制定し、ともに連携しながら様々な活動を通して、花と緑を愛し清潔できれいな街づくりを目指しています。20周年を迎えた花憲章の理念に基づき、街の美化事業と「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進に取り組みました。(通年)

【花の街事業】

- ・「ほ도가や花フェスタ2018」の開催(5月)
- ・フラワーメイトによる星川中央公園と区役所花壇の維持(月2回)
- ・「きれいな街ほ도가や」ポスター展の開催(10月～12月)
- ・花の寄せ植え教室(年2回)、秋の花探検隊(年1回)

【街の美化】

- ・区美化推進員活動の実施(月4回)、地域清掃の支援(随時)

【ヨコハマ3R夢の推進】

- ・横浜国大分別説明会(4月)(7月～1月)
- ・保土ヶ谷区ヨコハマ3R夢・地球温暖化推進本部会議の開催(5月)
- ・大型店舗3R夢啓発キャンペーン(6月)
- ・合同育児における3R夢啓発(6月)
- ・保育園、小学校出前講座(14回)、分別住民説明会(8回)、外国人向け分別啓発(1回)

36 読書活動推進事業【(予) 200,000 (決) 85,911】

平成26年4月1日に「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行されたことを受け、学校や図書館、活動団体や民間事業者と連携し地域社会で活発な読書活動が展開されることを目的に、関連事業を実施しました。

- ・地域での読み聞かせサポーター入門講座(9月)
- ・図書修理ボランティア養成講座(1～2月)
- ・わらべうた講習会(6月、10月、3月)
- ・読書活動推進講演会(11月)
- ・読書活動推進会(6月、2月)
- ・保土ヶ谷区学校図書館探訪

37 保土ヶ谷区芸術の街【(予) 2,847,000 (決) 2,841,830】

保土ヶ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施しました。(通年)

- (1) 保土ヶ谷区民文化祭事業(9月22日～3月30日 保土ヶ谷公会堂、岩間市民プラザ)写真展、いけばな展、茶会、高齢者作品展、ふれあいコンサート、小学校児童音楽会、子ども芸術劇場、合唱祭、芸能祭及びほ도가や DancePerformance 開催
- (2) 区民ギャラリー事業(4月1日～3月31日 区民ギャラリー:27組展示、アーバンアート:27組展示) 区役所1階・区民ギャラリーと、保土ヶ谷駅ビル3階・アーバンアートに一般公募した区民の作品展示
- (3) 区民コンサート(7月7日 保土ヶ谷公会堂 入場者約350名)
- (4) 区の歌普及事業
区内イベント(花フェスタ・区民まつりなど)における区の歌の合唱等

38 保土ヶ谷区ガイドマップ作成事業【(予) 1,722,000 (決) 0】

保土ヶ谷区に転入する区民へ生活に必要な情報を提供します。※隔年で作成

【差引の主な理由】

過年度発行分の残部が多くあったため、残部を引き続き活用することとし、平成30年度は発行を見送りました。

<信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～>

市民サービスのさらなる向上を目指し、税務課におけるレイアウト変更など、来庁者の皆様が安心して利用できる施設環境の整備を行いました。また、的確・迅速・丁寧な対応で「一步先」のサービスを提供できるよう、対応マナー研修などを実施し、職員一人ひとりがスキル向上に取り組みました。さらに、地域の皆様の声にしっかりと耳を傾け、職員間の連携を強化し、「チーム保土ヶ谷」として一丸となって地域のニーズ・課題に取り組む「信頼される区役所づくり」を進めました。

【予算額 17,146,000 円】

【決算額 20,273,067 円】

39 区総合調整事業【(予) 2,000,000 (決) 2,590,181】

区民が安心・快適に生活が送れるよう、緊急的・突発的な課題に機動的かつ柔軟に対応しました。(通年)

40 「利用しやすい区役所」推進事業【(予) 13,128,000 (決) 16,208,222】

税務課におけるレイアウト変更など、区民が利用しやすい区庁舎・区民利用施設的环境を整備しました。(通年)

【差引の主な理由】

税務課レイアウト変更業務委託において、より広い市民スペースや会議室スペース等を生み出すために、当初想定より委託金額が上昇したため。

41 窓口サービス向上事業【(予) 724,000 (決) 527,823】

職員の応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、業務改善に取り組むことで、職員一人ひとりが区民の皆さまへの傾聴の姿勢を持ち、丁寧かつ迅速な対応を基本としたサービスの提供を行うことのできる、区民の皆さまから信頼される区役所づくりに取り組みました。

- (1) チーム保土ヶ谷づくりプロジェクト (通年)
- (2) 職員接遇研修の実施：「応対マナー研修」(6～7月にかけて3回実施)、
「クレーム対応研修」(9月実施)、「CSリーダー研修」(10月実施)
- (3) 人権啓発研修の実施 (5月～12月)
- (4) 業務研修の開催 (～2月)

42 統計便覧作成事業【(予) 279,000 (決) 266,517】

保土ヶ谷区に関する各種統計調査情報を便覧の形式で発行し、区民に提供しました。(3月)

43 保土ヶ谷区GIS活用推進事業【(予) 1,015,000 (決) 680,324】

各種統計情報や業務データ等を地理空間情報として整備し、GIS(地理情報システム)で扱うことで、客観的な情報分析や分かりやすい資料作成を可能にし、政策立案力や庁内情報共有環境の向上を目指しました。GISの活用推進にあたり、課職員のスキル向上を行いました。

- (1) GISデータの整備 (通年)
- (2) 各課所管事業内での活用 (通年)

(3) 一般管理費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差 引	差引の主な理由
統合事務費	24,371,000	24,107,215	263,785	節減による消耗品費の減等
区庁舎・区民利用施設 管理費	528,220,000	530,915,486	△2,695,486	
区庁舎	98,062,000	102,063,558	△4,001,558	猛暑対応等による光熱水費の増等
ほどがや 市民活動センター	25,028,000	25,028,000	0	
土木事務所	8,684,000	8,894,648	△210,648	電気・電話料金の増等
公会堂	55,751,000	55,751,000	0	
地区センター等	331,037,000	330,433,312	603,688	エレベーター保守費実績による減等
広場・遊び場	2,158,000	2,256,938	△98,938	遊具整備、看板設置による増等
区庁舎・区民利用施設 修繕費	7,500,000	6,488,030	1,011,970	実績に伴う減等
合 計	552,591,000	555,022,701	△2,431,701	

《参考1》区局連携促進事業執行実績

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
保土ヶ谷区バリアフリー基本構想策定事業	5,590,000	5,555,400	34,600	<p>平成22年度に策定した星川駅の見直しと、保土ヶ谷駅及び天王町駅を新たに加えた「横浜市保土ヶ谷区バリアフリー基本構想」の策定を行いました。</p> <p>29年度に実施した、3駅周辺のまちあるき点検や市民意見募集の結果を踏まえ、「横浜市バリアフリー検討協議会 保土ヶ谷区部会」により検討を進め、基本構想を策定しました。</p> <p>(事業所管局：道路局)</p> <p>(1) 第2回保土ヶ谷区部会の開催(7月)</p> <p>(2) 第3回保土ヶ谷区部会の開催(11月)</p> <p>(3) 基本構想策定(3月)</p>
緊急時情報システム運用試行事業	290,000	207,360	82,640	<p>双方向機能を有する電話を利用した緊急時情報システムの運用及び検証を行いました。</p> <p>災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長(自治会町内会長)、災害警戒区域内(土砂災害警戒区域、浸水想定区域)にある要援護者施設及び即時勧告対象世帯に対して発信し、あわせて、双方向機能を活用したシステムを試行実施し、実務上の課題と事業効果を検証しました。(通年)</p> <p>(事業所管局：総務局)</p>
合計	5,880,000	5,762,760	117,240	

《参考2》 元気な地域づくり推進事業執行実績

市民局からの予算配付を得て、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
“輝け、地域力！”事業	2,173,000	1,949,962	223,038	自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携し、自らが地域の課題を解決するための取組に対し、補助金を交付しました。また、地域組織づくりへの支援として、地域活動団体の取組等を掲載した広報誌を作成しました。（通年）
地域・まちづくり活動支援事業	1,592,000	585,307	1,006,693	<p>地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ区民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の推進を図るため、事業費を補助しました。</p> <p>(1) 補助金申請審査、交付決定・支出（4～6月）</p> <p>(2) 事業発表会（10月）</p> <p>(3) 次年度申請募集（3月）</p>
保土ヶ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業	1,191,000	1,748,205	▲557,205	<p>保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地区別計画の推進や課題の解決を支援することにより、区民主体の地区運営を進めました。</p> <p>(1) 地区懇談会等への外部アドバイザー派遣による地区計画推進支援（通年）（3地区）</p> <p>(2) 各地区支援チーム（区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ）による地区支援（通年）</p> <p>(3) ほっとなまちづくりフォーラム開催（12月）</p> <p>(4) 区民向けダイレクトメールの送付（12月）</p> <p>(5) 地域福祉保健計画 GIS マップ作成（3月）</p>

地域づくりプロジェクト 「ほ도가や がっこう 楽考」	1,200,000	1,199,369	631	協働による地域づくりを目指し、次代の地域活動を担う区民と区職員と一緒に、身近な地域課題の解決方法などを学ぶ場として、「ほ도가やがっこう楽考」を開講しました。 (1)ほ도가や楽考の実施（6～12月）
合 計	6,156,000	5,482,843	673,157	

令和元年度災害対策推進事業の取組状況について

安全・安心に暮らすことができる区づくりのため、区災害対策連絡協議会の構成団体や地域防災拠点管理運営委員会など、地域と連携して「20万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、家庭と地域における防災力の向上につなげます。

1 最近の主な取組

(1) 減災運動推進強化月間（6月）

6月を「減災運動推進強化月間」として、関係機関と連携し、風水害に備えた取組を行いました。

ア JR保土ヶ谷駅、相鉄線天王町駅における駅頭広報（6月10日）

イ 天王町駅周辺水害対策訓練及び講演会の実施（6月30日）

ウ 地区センター（区内4か所）での風水害啓発パネルの展示

エ 「土砂災害警戒情報」の発表とともに「避難勧告」を発令する対象区域（即時勧告対象区域）へのポスティングによる広報啓発（12地区）

(2) 感震ブレーカー設置補助事業

震災時の通電による火災を防ぐため、総務局が実施する補助事業の活用促進を図るとともに、総務局の補助対象地域以外の自治会町内会に対し、昨年度に続き、区独自の補助事業を実施し、感震ブレーカーの設置普及を進めています。

《申請期間》：4月1日から11月29日まで

《申請実績》：8月末現在

市補助：2自治会 73世帯、区補助：5自治会 68世帯

※【参考】区内補助実績（平成25年度～令和元年度累計）

市補助：1,235世帯、区補助：1,009世帯

(3) ほどがや区防災サマーフェスタ2019（8月9日）

消防署・消防団が保土ヶ谷公会堂で開催した「ほどがや区防災サマーフェスタ2019」において、災害用備蓄や家具転倒防止対策の啓発、感震ブレーカーの器具紹介等を行い、防災意識の向上を図りました。（参加者：約370人）



石塚英彦氏をゲストに迎えたトークショー



防災用品等の展示

2 今後の予定

(1) 減災運動推進強化月間（9月）

9月を「減災運動推進強化月間」として、関係機関と連携し、地震に備えた取組を行います。

ア コミュニティハウス（区内6か所）での地震に係る啓発パネルの展示

イ 横断幕の掲出（JR保土ヶ谷駅、かるがも）

ウ 減災運動推進大会

区民の皆様が自助・共助の重要性を認識し、知識を高め、実際の減災行動に繋がるよう、講演会を開催するとともに、先進的な取組を実施している自治会・町内会などの取組事例を紹介し、地域防災力の向上を図ります。

日時： 令和元年9月7日（土）13:30～15:00（13:00開場）

場所： 保土ヶ谷公会堂（定員600名）

内容：

第一部 取組事例発表「すべての行事が防災・減災」（瀬戸ヶ谷町自治会）

第二部 講演「女性の視点を踏まえた防災対策」

講師 常光明子 氏

（公財）横浜市男女共同参画推進協会
男女共同参画センター横浜北 館長



ロビー内展示（予定）

- ・感震ブレーカー設置補助制度の紹介及び実物展示
- ・家具転倒防止対策の紹介
- ・保土ヶ谷区防災アンケート結果の公表（速報）
- ・災害時のペット対策関連展示

(2) 地域防災拠点支援事業

被災地で実際に避難所運営を経験された方を講師に招き、拠点運営委員の皆様に円滑な拠点運営のポイントや知識を学んでいただく研修会を行います。

日時： 令和2年1～2月

場所： 保土ヶ谷公会堂

防災・地域福祉保健アンケートの結果報告(速報)について

保土ヶ谷区では、「20 万区民の自助・共助による減災運動」と「保土ヶ谷区ほっとなまちづくり（保土ヶ谷区地域福祉保健計画）」を推進しており、区民の意見を今後の方向性や具体的な取組に反映させるため、平成 26 年度に引き続き、『保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート』を実施しました。この度、アンケートの集計結果の速報がまとまりましたので報告いたします。

1 アンケート調査の概要

(1) 仕様

- ・調査地域 保土ヶ谷区内全域
- ・調査対象 区内に居住する 18 歳以上の男女 4,000 人(外国籍含む、無作為抽出)
- ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法 調査票の郵送（配布・回収）による自記入方式
- ・調査期間 令和元年5月31日～6月28日
- ・回収結果 有効回答者数 1,794 人、有効回答率 44.9%

(2) 構成

前回調査(H27.1 実施)から継続して質問する項目と、行政課題に対して区民意識を確認する必要から新たに設定した項目で構成。

- ・防災に関する質問 13 問、福祉保健に関する質問 17 問、及び回答者の属性

2 アンケート調査結果（速報）

別紙のとおり

3 今後のスケジュール

(1) 防災

9月 減災運動推進大会(9/7(土))での速報掲示

アンケート結果の公表（速報）

今後重点的に行う取組や、効果的広報手段の検討・実行に分析結果を活用

(2) 福祉保健

9月 アンケート結果の公表（速報）

10月 コンサルティング業者委託による結果の分析

11月 「第4期保土ヶ谷区ほっとなまちづくり（保土ヶ谷区地域福祉保健計画）」の策定に向け、分析結果を活用

問1 災害に備えて準備をしていること・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	3日分以上の飲料水・食料の備蓄	835	46.5%	46.5%
2	携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄	1,176	65.6%	65.6%
3	避難場所の確認	1,052	58.6%	58.6%
4	自宅周辺の危険個所の確認（河川やがけなど）	471	26.3%	26.3%
5	家具類の固定や転倒防止などの対策	636	35.5%	35.5%
6	建物の耐震診断や耐震補強	233	13.0%	13.0%
7	家族との連絡方法の確認	593	33.1%	33.1%
8	職場や学校などからの帰宅ルートの確認	323	18.0%	18.0%
9	地域の防災訓練などへの参加	312	17.4%	17.4%
10	携帯電話への防災情報配信登録	397	22.1%	22.1%
11	その他	23	1.3%	1.3%
12	特に何もしていない	213	11.9%	11.9%
13	無回答	16	0.9%	0.9%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問2 保土ヶ谷区や横浜市などが実施する防災事業の認知・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	横浜市が提供する災害情報Eメール	315	17.6%	17.6%
2	保土ヶ谷区が提供する水防情報のFAX・Eメール配信	116	6.5%	6.5%
3	横浜市HPでの、雨量情報、河川水位情報や地震情報などの防災情報	328	18.3%	18.3%
4	「171」（災害伝言ダイヤル）などの各種電話会社の災害用サービス	665	37.1%	37.1%
5	その他	31	1.7%	1.7%
6	知っているものがない	737	41.1%	41.1%
7	無回答	91	5.1%	5.1%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問3 保土ヶ谷区や横浜市が行っている減災のための事業の認知・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	木造住宅の無料耐震診断・耐震改修補助	354	19.7%	19.7%
2	分譲マンションの耐震診断・耐震改修補助	171	9.5%	9.5%
3	防災ベッドや耐震シェルターの設置補助	65	3.6%	3.6%
4	家具転倒防止器具の取付助成	162	9.0%	9.0%
5	ブロック塀等改善補助	225	12.5%	12.5%
6	感震ブレーカー設置補助	210	11.7%	11.7%
7	がけ地防災対策工事の助成	169	9.4%	9.4%
8	知っているものがない	1,049	58.5%	58.5%
9	無回答	62	3.5%	3.5%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問4 震災時の避難場所の認知・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	いっとき避難場所	789	44.0%	44.0%
2	助け合い避難場所	67	3.7%	3.7%
3	地域防災拠点	554	30.9%	30.9%
4	広域避難場所	1,098	61.2%	61.2%
5	福祉避難所	39	2.2%	2.2%
6	知っているものがない	254	14.2%	14.2%
7	無回答	42	2.3%	2.3%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問5 大地震が発生した直後の二次被害として不安なもの・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	火災	1,292	72.0%	72.0%
2	がけ崩れ	504	28.1%	28.1%
3	津波	284	15.8%	15.8%
4	家屋倒壊（家具転倒）	1,092	60.9%	60.9%
5	ライフライン（電気・ガス・水道など）	1,569	87.5%	87.5%
6	その他	85	4.7%	4.7%
7	無回答	29	1.6%	1.6%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問6 保土ヶ谷区「20万区民の自助・共助による減災運動」の認知・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	知っている	91	5.1%	5.1%
2	聞いたことがある	295	16.4%	16.4%
3	知らない	1,367	76.2%	76.2%
4	無回答	41	2.3%	2.3%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問7 「家具転倒防止」対策について・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	【対策している】家具を壁等に固定している	623	34.7%	34.7%
2	【対策している】家具の配置を倒れても大丈夫なようにしている	738	41.1%	41.1%
3	【対策していない】対策の必要性を感じない	112	6.2%	6.2%
4	【対策していない】どのように行えばいいかわからない	260	14.5%	14.5%
5	【対策していない】そういった対策が必要とは知らなかった	25	1.4%	1.4%
6	【対策していない】自分で対策することができない	179	10.0%	10.0%
7	無回答	94	5.2%	5.2%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問8 自治体・町内会など地域が取組む防災講習会について・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	参加したことがある	595	33.2%	33.2%
2	居住地域で開催されているが参加したことはない	499	27.8%	27.8%
3	居住地域では開催されていない	12	0.7%	0.7%
4	居住地域で開催されているかどうかかわからない	624	34.8%	34.8%
5	無回答	64	3.6%	3.6%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問9 災害時、隣近所など地域に期待すること・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	消火、救出活動などの助け合い	1,343	74.9%	74.9%
2	食糧などの持ち寄り	924	51.5%	51.5%
3	要援護者の支援	845	47.1%	47.1%
4	特に期待していない	210	11.7%	11.7%
5	その他	37	2.1%	2.1%
6	無回答	68	3.8%	3.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問10 地域防災拠点や各地域で行われる防災訓練への参加の有無・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	地域防災拠点訓練に参加したことがある	287	16.0%	16.0%
2	自治体・町内会などが主催する、地域の防災訓練に参加したことがある	629	35.1%	35.1%
3	勤務先、学校などの防災訓練に参加したことがある	487	27.1%	27.1%
4	その他	16	0.9%	0.9%
5	参加したことがない	730	40.7%	40.7%
6	無回答	56	3.1%	3.1%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問11 「通電火災」の認知・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	知っている	1,207	67.3%	67.3%
2	知らなかった	530	29.5%	29.5%
3	無回答	57	3.2%	3.2%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問12 「通電火災」を防ぐための対策について・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	避難するときは、ブレーカーを切るように家族等と話し合っている	587	32.7%	32.7%
2	感震ブレーカーを設置し、地震時はブレーカーが切れるようにしてある	195	10.9%	10.9%
3	その他	40	2.2%	2.2%
4	特に対策はしていない	951	53.0%	53.0%
5	無回答	76	4.2%	4.2%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問13 防災に関する情報を得る手段・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	新聞、雑誌など	677	37.7%	37.7%
2	インターネット	621	34.6%	34.6%
3	スマートフォン（SNS含む）	682	38.0%	38.0%
4	テレビ、ラジオ	1,325	73.9%	73.9%
5	防災関係イベント	100	5.6%	5.6%
6	行政からの広報誌	495	27.6%	27.6%
7	町内の回覧板や掲示板	671	37.4%	37.4%
8	隣近所の友人・知り合い	136	7.6%	7.6%
9	家族や親類	169	9.4%	9.4%
10	その他	19	1.1%	1.1%
11	特になし	59	3.3%	3.3%
12	無回答	37	2.1%	2.1%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問14 「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」の認知・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	知っており、何かしら関わっている	53	3.0%	3.0%
2	関わりはないが、内容は知っている	126	7.0%	7.0%
3	名称は聞いたことがある	496	27.6%	27.6%
4	全く知らない	1,051	58.6%	58.6%
5	無回答	68	3.8%	3.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問15 住んでいる地域が、高齢者や障害者、子どもなど「誰もが安心して暮らせるつながり支えあいのある」地域だと思うか・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	そう思う	180	10.0%	10.0%
2	どちらかといえばそう思う	835	46.5%	46.5%
3	どちらかというともそう思わない	460	25.6%	25.6%
4	そう思わない	232	12.9%	12.9%
5	無回答	87	4.8%	4.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問16 今後地域の中で充実していくといいと思う福祉保健に関する活動・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	高齢者等の食事会・配食サービス	620	34.6%	34.6%
2	地域で気軽に集まれる場	620	34.6%	34.6%
3	通所支援、通学支援	405	22.6%	22.6%
4	見守り・訪問活動（あんしん訪問、民生委員活動、友愛活動など）	875	48.8%	48.8%
5	日常への困りごとへの支援（生活支援ボランティア）	688	38.4%	38.4%
6	文化・スポーツ・健康づくりなどを楽しむサークル活動	425	23.7%	23.7%
7	外出時の移動支援	372	20.7%	20.7%
8	お祭りやイベントなど地域のつながりができる取組	461	25.7%	25.7%
9	高齢者や障害者、子どもなどの交流	407	22.7%	22.7%
10	外国籍の方への支援	180	10.0%	10.0%
11	その他	57	3.2%	3.2%
12	無回答	113	6.3%	6.3%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問17 地域で活動している団体の認知・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	自治会町内会	1,637	91.2%	91.2%
2	地区社会福祉協議会	499	27.8%	27.8%
3	区民会議	197	11.0%	11.0%
4	民生委員・児童委員	941	52.5%	52.5%
5	主任児童委員	105	5.9%	5.9%
6	保護司	257	14.3%	14.3%
7	更生保護女性会	37	2.1%	2.1%
8	P T A	1,055	58.8%	58.8%
9	老人クラブ	699	39.0%	39.0%
10	女性部、婦人部などの女性団体	346	19.3%	19.3%
11	子ども会	829	46.2%	46.2%
12	災害ボランティアネットワーク	45	2.5%	2.5%
13	学校地域コーディネーター	100	5.6%	5.6%
14	あんしん訪問員	126	7.0%	7.0%
15	保健活動推進員	135	7.5%	7.5%
16	食生活等改善推進員（ヘルスメイト）	103	5.7%	5.7%
17	友愛活動員	52	2.9%	2.9%
18	子育て支援者	255	14.2%	14.2%
19	こんにちは赤ちゃん訪問員	210	11.7%	11.7%
20	青少年指導員	435	24.2%	24.2%
21	スポーツ推進委員	337	18.8%	18.8%
22	環境事業推進委員	144	8.0%	8.0%
23	家庭防災員	301	16.8%	16.8%
24	消防団員	740	41.2%	41.2%
25	防犯指導員	176	9.8%	9.8%
26	無回答	78	4.3%	4.3%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問18 地域ケアプラザの認知と利用の有無・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	知っており、利用している(利用したことがある)	400	22.3%	22.3%
2	知っているが利用したことはない	977	54.5%	54.5%
3	知らない	395	22.0%	22.0%
4	無回答	22	1.2%	1.2%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問19 ケアプラザの業務の認知・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	地域の福祉・保健活動の場の提供(多目的ホール等の貸室)	625	34.8%	34.8%
2	健康づくり、子育て教室などの各種イベント、講座の開催	644	35.9%	35.9%
3	地域活動やボランティア等の紹介・調整	289	16.1%	16.1%
4	介護の悩みや高齢者のお金に関する事など、福祉保健に関する様々な悩み相談	293	16.3%	16.3%
5	介護サービスに関する事業	572	31.9%	31.9%
6	通所介護（デイサービス）	559	31.2%	31.2%
7	地域の見守り支えあいの仕組みづくり	106	5.9%	5.9%
8	業務については知らない	572	31.9%	31.9%
9	無回答	572	31.9%	31.9%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問20 区社会福祉協議会の認知・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	知っており、利用している(利用したことがある)	91	5.1%	5.1%
2	知っているが利用したことはない	599	33.4%	33.4%
3	知らない	1,073	59.8%	59.8%
4	無回答	31	1.7%	1.7%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問21 区社会福祉協議会の業務の認知・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	ボランティア活動に関する情報提供、相談及び関係団体との調整	258	14.4%	14.4%
2	福祉活動を行っている団体への貸室業務	152	8.5%	8.5%
3	地区社会福祉協議会や活動地域への支援助成	272	15.2%	15.2%
4	障害者団体、ボランティア団体への支援・女性	215	12.0%	12.0%
5	車いすなど社会福祉の貸出	191	10.6%	10.6%
6	お金の管理に不安のある高齢者・障害者などの定期訪問・金銭管理	66	3.7%	3.7%
7	移動に困難を抱える障害者等への支援制度の案内等・コーディネート	105	5.9%	5.9%
8	公共交通機関が使用できない方への送迎サービス	91	5.1%	5.1%
9	当事者活動支援事業	41	2.3%	2.3%
10	低所得者世帯等を対象とした、生活福祉資金の貸付相談	61	3.4%	3.4%
11	共同募金、日本赤十字、世帯賛助会費などの各種募金業務	342	19.1%	19.1%
12	「みんなの食堂」などへの支援	63	3.5%	3.5%
13	業務については知らない	204	11.4%	11.4%
14	無回答	1,049	58.5%	58.5%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問22 いきいきと生活していると感じているか・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	そう思う	402	22.4%	22.4%
2	どちらかといえばそう思う	942	52.5%	52.5%
3	どちらかというとならない	300	16.7%	16.7%
4	そう思わない	116	6.5%	6.5%
5	無回答	34	1.9%	1.9%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問23 健康だと感じているか・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	そう思う	450	25.1%	25.1%
2	どちらかといえばそう思う	869	48.4%	48.4%
3	どちらかというとならない	279	15.6%	15.6%
4	そう思わない	163	9.1%	9.1%
5	無回答	33	1.8%	1.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問24 自分で心がけているもの・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	栄養バランスなど食生活に気を付ける	1,157	64.5%	64.5%
2	歯磨きを丁寧にするなどお口の健康に気を付ける	1,085	60.5%	60.5%
3	お酒を適量にする（もともと飲酒しない方は除く）	449	25.0%	25.0%
4	たばこを吸わない（もともと喫煙しない方は除く）	399	22.2%	22.2%
5	定期的に運動する	708	39.5%	39.5%
6	休養や睡眠を十分にとる	993	55.4%	55.4%
7	健康診断や検査を受ける	1,003	55.9%	55.9%
8	家にこもらず外に出る	726	40.5%	40.5%
9	くよくよ悩まないようにする	613	34.2%	34.2%
10	その他	41	2.3%	2.3%
11	特になし	69	3.8%	3.8%
12	無回答	30	1.7%	1.7%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問25 近所とのつながりについて・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	困ったときお互いに助け合っている	130	7.2%	7.2%
2	気のあった人と親しくしている	279	15.6%	15.6%
3	会ったら世間話をする	289	16.1%	16.1%
4	挨拶だけする程度	775	43.2%	43.2%
5	つながりはない	109	6.1%	6.1%
6	無回答	212	11.8%	11.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問26 地域活動を行ったことがあるか・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	運営として関わったことがある	423	23.6%	23.6%
2	行事の参加はしたことがある	673	37.5%	37.5%
3	まったく関わったことが無い	629	35.1%	35.1%
4	無回答	69	3.8%	3.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問27 今後の地域活動に関する考え方・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	中心となって活動したい	15	0.8%	0.8%
2	活動している人のお手伝いをしたい	285	15.9%	15.9%
3	行事の参加だけなら関わりたい	516	28.8%	28.8%
4	今のところできれば関わりたくない	395	22.0%	22.0%
5	わからない	430	24.0%	24.0%
6	その他	75	4.2%	4.2%
7	無回答	78	4.3%	4.3%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問28 地域活動を行う場合、どのようなことがあれば参加しやすいか・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	仕事や子育てが終わり時間ができれば	376	21.0%	21.0%
2	趣味や特技が生かせれば	334	18.6%	18.6%
3	一緒に活動する仲間がいれば	447	24.9%	24.9%
4	参加したい内容であれば	859	47.9%	47.9%
5	すでに活動している人から誘われれば	125	7.0%	7.0%
6	当番が回ってくれば	495	27.6%	27.6%
7	初参加の人がたくさんいるなど、なじめる雰囲気があれば	282	15.7%	15.7%
8	人の役に立っていることが実感できれば	184	10.3%	10.3%
9	ちょっとした時間で参加できれば	424	23.6%	23.6%
10	お手伝い程度であれば	548	30.5%	30.5%
11	記念品や交通費などが支給されれば	99	5.5%	5.5%
12	その他	85	4.7%	4.7%
13	無回答	108	6.0%	6.0%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問29 今後やってみたいと思う地域での福祉保健に関する活動・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	高齢者等の食事会・配食サービス	165	9.2%	9.2%
2	地域で気軽に集まれる場づくり	304	16.9%	16.9%
3	通所支援、通学支援	137	7.6%	7.6%
4	見守り・訪問活動（あんしん訪問、民生委員活動、友愛活動等）	177	9.9%	9.9%
5	日常への困りごとへの支援（生活支援ボランティア）	258	14.4%	14.4%
6	文化・スポーツ・健康づくりなどを楽しむサークル活動	556	31.0%	31.0%
7	外出時の移動支援	95	5.3%	5.3%
8	お祭りやイベントなど地域のつながりができる取組	420	23.4%	23.4%
9	高齢者や障害者、子どもなどの交流の場づくり	185	10.3%	10.3%
10	外国籍の方への支援	125	7.0%	7.0%
11	その他	141	7.9%	7.9%
12	無回答	374	20.8%	20.8%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

問30 地域活動の情報を得る手段・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	広報よこはま保土ヶ谷区版等の広報誌	1,055	58.8%	58.8%
2	地域情報を扱うタウン誌、フリーペーパー	262	14.6%	14.6%
3	ホームページ、メールマガジン	88	4.9%	4.9%
4	ツイッターやフェイスブックなどのSNS	45	2.5%	2.5%
5	地域で活動している人から	139	7.7%	7.7%
6	親族や近隣の知人・友人から	178	9.9%	9.9%
7	地域ケアプラザや区社会福祉協議会、区役所の窓口等	74	4.1%	4.1%
8	自治会町内会の回覧板	1,039	57.9%	57.9%
9	地域の掲示板	381	21.2%	21.2%
10	その他	41	2.3%	2.3%
11	無回答	122	6.8%	6.8%
	全体	1794	100.0%	100.0%

F1 年齢・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	29歳以下	141	7.9%	7.9%
2	30歳～34歳	94	5.2%	5.2%
3	35歳～39歳	107	6.0%	6.0%
4	40歳～44歳	123	6.9%	6.9%
5	45歳～49歳	156	8.7%	8.7%
6	50歳～54歳	161	9.0%	9.0%
7	55歳～59歳	140	7.8%	7.8%
8	60歳～64歳	136	7.6%	7.6%
9	65歳～69歳	185	10.3%	10.3%
10	70歳～74歳	196	10.9%	10.9%
11	75歳～79歳	161	9.0%	9.0%
12	80歳以上	183	10.2%	10.2%
13	無回答	11	0.6%	0.6%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

F2（同居している）家族構成・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	ひとり暮らし	251	14.0%	14.0%
2	夫婦のみ	503	28.0%	28.0%
3	親と子（2世代世帯）	799	44.5%	44.5%
4	親と子と孫（3世代世帯）	115	6.4%	6.4%
5	兄弟・姉妹	15	0.8%	0.8%
6	その他	88	4.9%	4.9%
7	無回答	23	1.3%	1.3%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

F3 保土ヶ谷区内での居住年数・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	5年未満	219	12.2%	12.2%
2	5年～10年未満	166	9.3%	9.3%
3	10年～15年未満	166	9.3%	9.3%
4	15年～20年未満	185	10.3%	10.3%
5	20年～30年未満	317	17.7%	17.7%
6	30年～40年観何	260	14.5%	14.5%
7	40年以上	470	26.2%	26.2%
8	無回答	11	0.6%	0.6%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

F4 居住形態・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	一戸建て（持ち家）	884	49.3%	49.3%
2	一戸建て（借家）	43	2.4%	2.4%
3	マンション・アパート（持ち家）	479	26.7%	26.7%
4	マンション・アパート（賃貸）	324	18.1%	18.1%
5	その他	44	2.5%	2.5%
6	無回答	20	1.1%	1.1%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

F6 自治会町内会への加入・・・（単一回答）

No.	回答	n	%	%
1	加入している	1,469	81.9%	81.9%
2	加入していない	299	16.7%	16.7%
3	無回答	26	1.4%	1.4%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

F7 自治会町内会に加入した理由・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	加入するのが当然だと思うため（親の代から入っているため）	943	52.6%	52.6%
2	周りの人が加入しているため	192	10.7%	10.7%
3	加入の勧誘があったため	134	7.5%	7.5%
4	地域で仲間や友達をつくりたいため	59	3.3%	3.3%
5	地域の情報を得ることができるため	256	14.3%	14.3%
6	地域の活動に参加したいため	82	4.6%	4.6%
7	災害等に備えるため	166	9.3%	9.3%
8	現住居に入居する際に加入が条件になっていたため	283	15.8%	15.8%
9	その他	62	3.5%	3.5%
10	無回答	299	16.7%	16.7%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

F8 町内会自治会へ未加入の理由・・・（複数回答可）

No.	回答	n	%	%
1	近い将来、引っ越しをするため（現在の住所に定住しないため）	58	3.2%	3.2%
2	人付き合いが煩わしいから	36	2.0%	2.0%
3	ほとんど家におらず、活動に参加できないから	100	5.6%	5.6%
4	班長や役員になるのが重荷だから	58	3.2%	3.2%
5	会費の支払いが負担になるから	34	1.9%	1.9%
6	自治会町内会が何をしているのか分からないから	59	3.3%	3.3%
7	マンション・アパートで、他に誰も加入していないから	56	3.1%	3.1%
8	加入の仕方が分からないから	53	3.0%	3.0%
9	加入手続きが煩わしいから	13	0.7%	0.7%
10	その他	47	2.6%	2.6%
11	無回答	1,302	72.6%	72.6%
	全体	1,794	100.0%	100.0%

ほどがや元気づくり事業について

第2期健康横浜21に基づき、区民の皆様の健康づくりに向けて、諸事業を進めているところですが、特に「働き・子育て世代」（30～50歳代）の方々に対して、生活習慣病の予防に向け、健康への関心を高めていただくために、関係団体等と協働しながら各種の取組を行っています。

1 最近の主な動き

- (1) ほどがや花フェスタにて、保健活動推進員と協働し、①呼気中のタバコの影響チェックや、②大腸がんや特定健診のクイズを通じたPRを実施(5/18；延べ637名)
- (2) 横浜国大大学祭に来られる学生や地域の方に向けて、保健活動推進員や食生活等改善推進員と共に、①適正飲酒の啓発、②喫煙による身体への影響のチェック、②野菜量計測を通じたバランスのよい食事の啓発(5/19；延べ640名)
- (3) 親子健康まつりにて、お子さんや保護者の口腔ケアのPRに加え、食事バランスの重要性の啓発やがん検診のPR、姿勢チェックなどを実施(6/13；延べ151名)



花フェスタでのがん検診啓発



大学祭でアルコールパッチテスト



親子健康まつりでの食生活PR

- (4) 3歳児未満と保護者を対象に、簡単な野菜を使ったおやつ作りを通して、正しいおやつの知識とむし歯の関係を伝えると共に、保護者自身の健康を振り返る機会とした講座（歯っぴい！おやつクッキング）を開催(6/25；延べ35名)
- (5) 横浜FCと協働し、保土ヶ谷区民DAYにて、オフィシャル・マスコットと一緒に写真撮影ができるブースを出店。特定健診の受診勧奨や、生活習慣病予防のPRリーフレットを作成・配布(6/29；約1,000名)



歯っぴい！おやつクッキング



保土ヶ谷区民DAYでの健康啓発

2 今後の取組

- (1) 『簡単！時短レシピ集』（仮称）の発行（10月）

食生活等改善推進員と協働で時短メニューを開発し、横浜国大写真部の協力を得て料理写真を撮影し、レシピ集として発行を予定

- (2) ウォーキング・マップ『坂道てくてく』のリニューアル（11月）

食生活等改善推進員のウォーキング・マップの内容変更とともに、GISデータを活用した運動強度、高低差、歩数などの追加情報の掲載や、各地点の季節の情報などを併せて掲載した内容へ改訂し、パンフレットとして発行を予定

- (3) 肩こり解消！簡単トレーニング動画の作成（11月）

肩こり解消という働き・子育て世代に身近なテーマから正しい姿勢や運動習慣の啓発などを案内する健康啓発動画を保土ヶ谷スポーツセンターと協働で作成し、区役所ホームページに掲載するほか、健康経営に興味を持つ区内中小企業などにDVDで配布を予定

- (4) 生活習慣病（糖尿病）予防のための健康啓発動画の作成（11月）

11月の世界糖尿病デーに合わせ、糖尿病予防に向けたPR動画を横浜FCと横浜国大映画研究部と協働により作成し、区役所ホームページに掲載するほか、区内の店舗、区内公共施設、公共交通機関で放映を予定

横浜国立大学留学生の地域交流推進事業について

横浜国立大学と保土ヶ谷区が連携して、留学生に対して地域のイベント等への参加機会をコーディネートし、地域の方々と留学生との交流を推進します。

地域の方々と留学生との交流機会の増加により、互いの文化に対する理解の促進及び地域の活性化を図ります。

1 最近の主な動き

常盤台小学校で開催された常盤台地区の納涼盆踊り（8月3日（土））及び常盤台地域ケアプラザで開催された盆踊り練習会に、留学生が参加しました。

アフガニスタン、ブラジル、中国、ドイツ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、パキスタン、パナマ、ロシアからの留学生 計 14 名が参加し、盆踊りを通じて地域の方々と交流しました。

盆踊り当日は、参加した留学生全員が浴衣を着用し、地域の方々に交ざって櫓を囲んで踊るなど、日本の伝統文化を体験していただきました。なお、踊りの練習会では、振付の意味を地域の方から解説していただくなど、日本文化に対する理解を深めていただきました。



2 今後の予定

日程	件名	概要
10月19日（土）	ほどがや区民まつり	留学生の自国紹介ブースを出展し、来場者と交流
11月9日（土）	新桜ヶ丘地区 昔あそびのつどい	地域主催のイベントに留学生が参加し、地域の方々と交流や日本文化の体験
11月17日（日）	ほどがや国際フェスタ	留学生の自国紹介ブースを出展し、来場者と交流

星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業について

星川駅周辺まちづくりガイドラインについて、これまでの検討状況等を報告します。

1 概要

星川駅周辺では、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業による踏切の解消、星川駅南口交通広場、駅施設の整備やバリアフリー基本構想の策定など様々な事業等が行われています。

地区の魅力をも高め区心部の拠点性をさらに強化するため、星川駅周辺の公共施設の整備・検討状況と整合を図りながら、開発等を行う際の星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインを策定します。

2 これまでの検討状況

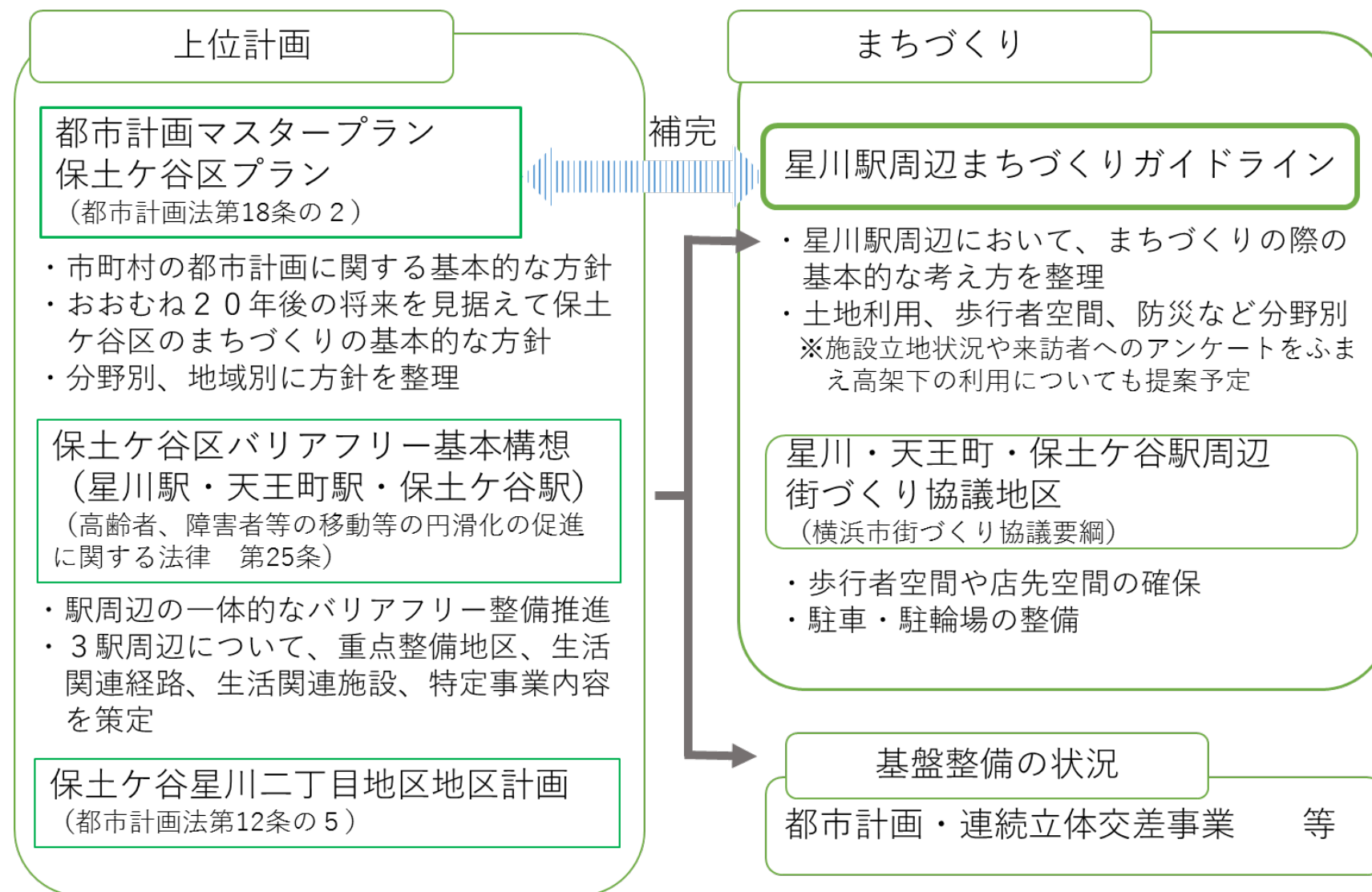
- (1) 星川駅周辺地区内にある施設の利用状況や、地区の持つイメージ、星川駅及び相鉄線高架下に整備して欲しい店舗や機能等について、区役所や公会堂、商業施設等の利用者を対象に、ヒアリング調査を行いました。（6月：別紙1）
- (2) 今後実施を予定している、地域の代表者や学識経験者等から構成される懇談会の開催や市民意見募集に向け、庁内で情報を共有するなど検討を進めました。（5月～8月）
- (3) ガイドラインの検討と合わせて、各連合町内会等において星川駅周辺のバス路線に関するアンケートを実施しました。（6月～7月：別紙2）

3 今後の予定

- ・ 9月～10月
地域の代表者や学識経験者等から構成される懇談会の開催
（地区の課題等の意見聴取）
- ・ 11月～12月
検討対象バス路線周辺のアンケート調査
- ・ 12月～1月
ガイドライン(素案)の作成
- ・ 2月
市民意見募集
懇談会の開催
（ガイドライン(素案)への意見聴取）



星川駅周辺まちづくりガイドラインと関連計画との関係図



ヒアリング調査結果概要

1 調査概要

星川駅周辺地区（以下、対象地区という）内に立地する施設に訪問した住民および地区外来訪者を対象としたアンケート調査の概要は下表の通りであり、260件（対象地区内 77件、対象地区外 183件）の回収を得た。

表 アンケート実施概要

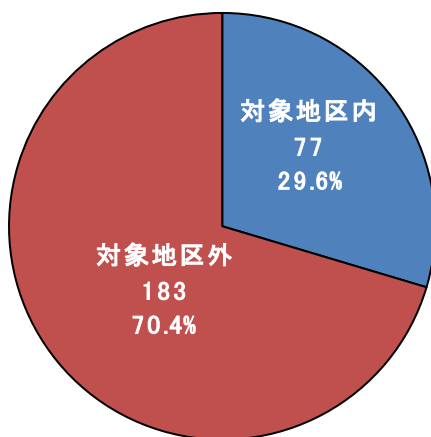
	内 容
目 的	対象地区のまちづくりの課題と可能性を整理するために、地区住民や近隣区・市の住民が対象地区や周辺に立地する施設の利用状況、立地のニーズなどを把握するものである。 さらに対象地区の位置づけ、利用状況等を聞き取ることで、地区内外の施設の立地状況、今後のまちづくりに関する基礎資料とする。
対 象 者	対象地区内に立地する施設に訪問した住民および地区外来訪者
実施方法	調査員が調査対象者にアンケート調査の依頼を行い、了承を得た方に対して聞き取り方式によるアンケートを実施した。
取得件数	260件（対象地区内 77件、対象地区外 183件）
実施時期	平日：令和元年6月27日（木） 休日：令和元年6月29日（土）

2 調査箇所および回答者内訳

- ・回答者の内、居住地が対象地区外の方が約70%であった。
- ・星川駅・SFビルが最も多く74件を取得した。地区内は、いなげやが20件で最も多く、地区外は、星川駅・SFビルが55件で最も多かった。

表 居住地（調査箇所別）

調査箇所	地区内	地区外	合計
星川駅・SFビル	19	55	74
保土ヶ谷区役所	12	15	27
郵便局	1	21	22
いなげや	20	35	55
川辺公園	14	14	28
保土ヶ谷図書館	9	18	27
イオン	2	25	27
合計	77	183	260



(N=260)

3 調査結果概要

(1) 地区内外での回答傾向

- ・ 地区内外で施設の利用状況や必要と考える施設、高架下に立地する施設、星川駅周辺について感じているイメージについては、ほぼ同じ回答であった。

(2) 星川駅周辺でよく利用する施設について

- ・ よく日常的に買い物する施設は、日用品を販売している「いなげや」や「イオン」、「コーナン」を利用している。
- ・ 病院については、地区内居住者が「星川 SF ビル」や「ボナハイツ星川」にある「星川内科外科クリニック」や「星川小児クリニック」、「星川ひろクリニック」を利用している。地区外居住者の方も駅周辺のクリニックを利用している。
- ・ その他で利用している施設は、飲食店（バーミヤン、マクドナルド、ドトール等）、郵便局、公共施設（保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷図書館等）がある。

(3) 天王町駅周辺でよく利用する施設について

- ・ 天王町駅周辺の日常的に買い物する施設については、半数以上が特に利用していない状況で、利用している方は「天王町駅から近い」、「品揃えがよい」、「安い」等の理由で「マルエツ」や「ドラッグストア」、「百元ショップ」を利用している。
- ・ 天王町駅周辺の病院やその他施設の利用は、星川駅周辺で整っている、わざわざ天王町までいかないという理由で8割以上が特に利用していない状況である。

(4) 地区内および高架下に必要と考える施設について

- ・ 地区内に必要と考える生活利便施設については、店舗数が少ないのでもう少し欲しいという理由で「スーパー」や「飲食店」、「病院」等が挙げられている。また、「金融機関」や「本屋」、「トイレ」や「ベンチ」といった、現状設置されていない施設も挙げられている。
- ・ 星川駅周辺の高架下に必要と考える施設は、「本屋」、「カフェ」、「食事処」が3割程度の方の意向がある。

(5) 星川駅周辺のイメージについて

- ・ 星川駅周辺のイメージは、「住みやすい、生活しやすい」、「交通の便が良い」、「ある程度なんでもある」と感じている方が3割以上であり、地区内居住者の8割は「住みやすい、生活しやすい」というイメージを持っている。

星川駅周辺のバス路線に関する連合町内会等アンケート結果等

1 実施概要

6月末までに連合町内会定例会（19 地区）において調査用紙を配付しヒアリングを実施しました。用紙は後日提出も可とし、7月中旬までに 17 地区から提出がありました。

2 結果概要

現在、星川駅付近まで通っているバス路線のうち、新たに整備される星川駅南口交通広場までの乗入れについて、複数の自治会からご要望いただいた主な路線は次のとおりです。なお、結果一覧については裏面に記載しています。

- ・星川駅付近を通るが駅前広場まで乗り入れていない路線
- ・近隣の駅止まりの路線の延伸
- ・区役所を含む星川駅方面へ既存路線の延伸

3 今後の予定

ご要望いただいた路線について、星川駅まで実際に乗っていただけるのかを中心にアンケートを実施し検討を進めます。

その後、バス路線の検討の具体化にあたっては、バス事業者の事業採算性、バスが通行可能な道路であることや安全性等が運行の判断材料となります。

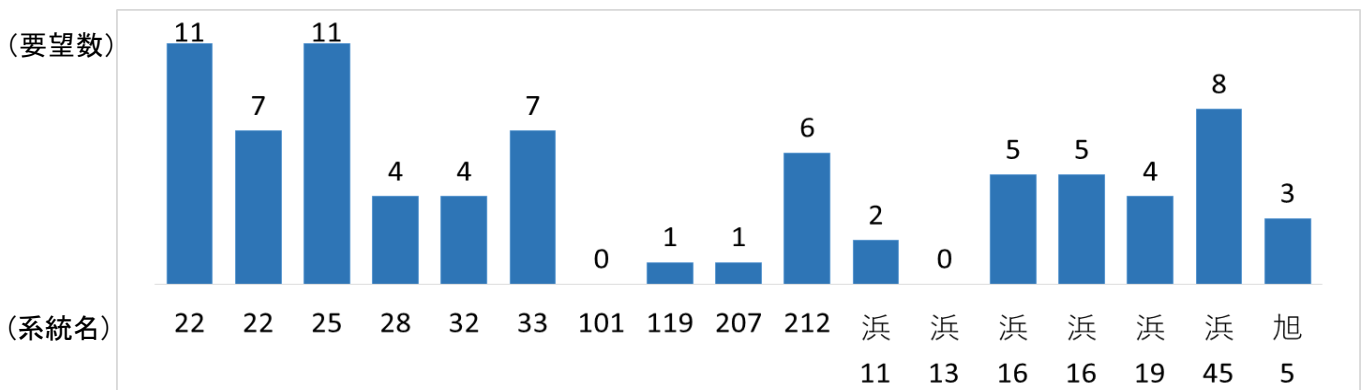
星川駅周辺のバス路線に関する連合町内会等アンケート結果

表 1 星川駅付近まで通っているバス路線

事業者	系統名	起点～主な経由地～終点
横浜市営バス	22	保土ヶ谷駅西口～桜ヶ丘～富士見橋～和田町駅～星川町～保土ヶ谷駅西口
	22	和田町駅～仏向原坂～仏向地域ケアプラザ前～仏向町団地～和田町駅～大門通～保土ヶ谷駅西口
	25	横浜駅西口～洪福寺～明神台～花見台～桜ヶ丘～保土ヶ谷駅西口
	28	平和台折返場～保土ヶ谷駅東口～浜松町～保土ヶ谷車庫
	32	保土ヶ谷車庫前～保土ヶ谷駅東口～久保山～尾上町～関内駅北口
	33	保土ヶ谷駅西口～星川駅前～明神台～花見台～富士見橋～栗の沢～仏向町団地～和田町駅
	101	保土ヶ谷車庫前～宮田町～浅間下～桜木町駅前～根岸駅
	119	峯小学校～和田町～下白根橋～新井町～鴨居駅
	207	横浜駅西口～洪福寺～保土ヶ谷車庫前
	212	保土ヶ谷車庫前～保土ヶ谷駅東口～瀬戸ヶ谷小学校～保土ヶ谷駅東口～保土ヶ谷車庫前
相鉄バス	浜 11	横浜駅西口～三ツ沢総合グラウンド～三ツ沢西町～ひじりヶ丘～釜台住宅第3～上星川駅
	浜 13	横浜駅西口～三ツ沢総合グラウンド～片倉町入口～羽沢～七里堰～上星川駅
	浜 16	鶴ヶ峰駅～市沢町～和田町駅
	浜 16	西原住宅～市沢町～和田町駅～横浜駅西口
	浜 19	和田町駅～市沢町～新桜ヶ丘団地
	浜 45	美立橋～今井町～新桜ヶ丘第1～星川ランプ～星川駅～保土ヶ谷駅西口
	旭 5	二俣川北口～美立橋～今井町～法泉町～岩崎町～保土ヶ谷区役所入口～保土ヶ谷駅西口

表 2 星川駅南口交通広場へのバス路線の乗入れ要望数

※連合定例会説明時と後日提出による要望数（複数選択可）の合計です。



バス路線の検討にあたっては、地域のニーズ把握のほか、バスが通行可能な道路であること、安全性や事業採算性が確保されることなどを考慮し、バス事業者と調整しながら具体化に向け検討していきます。